



性の多様性と人権問題

—セクシャル・マイノリティの人権を考える—

とき **7月10日(木)**
午前10時～正午

尼崎市立

ところ **上ノ島総合センター**
本館

参加無料

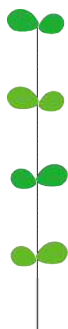
どなたでもご参加いただけます

女の子に生まれてきたはずなのに、どうしても自分が男の子だと思えたり、男の子に生まれてきたのに、女の子として生きたいと思ってしまう。または、自分の性別がよく分からない…。子どもからおとなまで、いろいろなセクシャルマイノリティの人たちが地域で暮らしています。セクシャルマイノリティの視点から、「性の多様性と人権」について学びます。ぜひ、1人参加ください。



「隠す社会」から「語れる社会」へ

あなたの子どもが、セクシャルマイノリティだったら？
あなたの親がセクシャルマイノリティだったら？
と考えたことがありますか。
セクシャルマイノリティは、周りの人にカミングアウトして、自分を隠さず、自分らしく暮らしたいと願っています。
さらだ（セクシャルマイノリティと人権を考える会）より



講師 石元 清英さん

(関西大学 教授、ひょうご部落解放・人権研究所所長)

講師 プロフィール

- 1953 年生まれ。
- 1985 年 京都大学大学院農学研究科博士課程満期退学（農林経済学専攻）
- 1989 年 関西大学社会学部専任講師
- 1999 年 関西大学社会学部教授（現在に至る）
- 専門は、部落問題論、差別論
- 1997 年の「キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク」の創立に関わり、2011 年より全国事務局を担当
- 2008 年より、関西大学人権問題研究室室長
- 2012 年より、全国大学同和教育研究協議会会長
- 2013 年より、ひょうご部落解放・人権研究所所長



手話通訳あり。申し込み不要

〈会場付近図〉



主催／立花中学校校区人権教育・啓発推進会議

問い合わせ先/尼崎市立上ノ島総合センター本館 TEL 06-6429-7640

本会は、立花中学校校区住民における住民組織及び関係行政機関の代表者で構成されています。立花中学校校区住民の同和問題をはじめさまざまな人権問題に関する教育や啓発活動を推進しています。